

総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会
(第26期・第13回) 議事要旨

1. 日 時 令和8年7月15日(水) 10:00～11:30
2. 会 場 ハイブリッド開催
(日本学術会議 5-A 会議室(1) 及びオンライン)
3. 出席者 高田保之委員長(現)、岩城智香子副委員長(現)、齋藤公児幹事(現)、
大野恵美委員(現)、大久保泰邦委員(現)、伊藤公孝委員(オ)、
下田吉之委員(現)、鈴置保雄委員(現)、藤田修委員(オ)、宮崎久
美子委員(オ)、藤岡恵子委員(オ)
計13名 (現)→現地参加 (オ)→オンライン参加

欠席 朝倉薫委員、武田秀太郎委員、兒玉了祐委員

4. 配布資料

資料 26-13-1 第26期・第11回分科会議事要旨

資料 26-13-2 第26期・第12回分科会議事要旨

資料 26-13-3 エネルギーと科学技術に関する分科会活動報告(R8年7月)

議事

(1) 前回議事要旨確認

高田委員長から資料26-13-1、26-13-2に関して分科会議事要旨の説明があり、承認された。

(2) 小委員会活動報告

大久保委員より口頭で、持続可能な開発目標達成のための洋上風力発電開発検討に関する提出済みの見解の進捗状況について説明があった。今後はフォローアップの対応が必要である。

7月8日に開催された学術フォーラム「新しい地熱技術開発と地熱開発、温泉、環境の共生に向けて」の報告があった。80数名対面参加、300名を超えるオンライン参加があった。

カーボンニュートラル実現に向けた熱エネルギー有効利用小委員会からの活動に関して藤岡委員から説明があった。現在第三部の見解に関して査読の対応中で、8月中に査読が完了する見込みである。

フュージョンエネルギー小委員会の活動に関して、高田委員長より前回分科会から活動の実績はないとの報告があった。

(3) その他

資料26-13-3に関して、高田委員長からエネルギーと科学技術に関する分科会活動報告(R8年7月)の説明があり、承認された。

第27期分科会の申請の世話人は岩城副委員長にお願いすることになった。

次回の分科会を9月に実施することとなり、9月24日の15時半から18時まで次期の分科会の活動に関して議論を深めることを主題に、九大で開催することになった。

(以上)